

はじめに

少子高齢化がさらに進展する中、健康寿命の延伸はこれまで以上に重要な課題となっており、誰もが住み慣れた地域でいつまでも健康でいきいきと暮らし続けることは、社会共通の願いであります。

置戸町では、安心して健やかに暮らせるまちを築くため、「第1期健康増進計画」及び「第2期健康増進計画」を策定し、母子保健、生活習慣病の予防や高齢者の健康づくりなど、様々な取り組みを推進してまいりました。

一方、新型コロナウイルス感染症の流行は、町民の皆さまの生活様式や健康意識に大きな変化をもたらしました。外出自粛や活動制限による運動不足・孤立化が懸念される中、感染症への備えと日常的な健康管理の重要性が改めて認識されました。また、デジタル化の急速な進展により、健康情報の取得や健康管理の手段が多様化するとともに、スマートフォン等を活用した新たな健康づくりの可能性も広がっています。

この度、第2期計画の最終評価を踏まえ、健康増進計画策定等委員会において新たな健康課題の見直しと協議を重ね、「第3期置戸町健康増進計画」を策定いたしました。本計画は令和8年度から令和17年度までの10年間を計画期間とし、「健康で安心して暮らせるまちづくり」を基本目標として、引き続き「生活習慣病の発症予防と重症化予防」「こころの健康と休養」「次世代の健康」「生活習慣の改善」「高齢者の健康」の5分野を柱に取り組みを推進してまいります。

本計画の達成に向け、町民の皆さまが自らの健康づくりを実践されるとともに、家庭・地域・職場が一体となって健康づくりに取り組んでいただけますよう、積極的なご参加とご理解、ご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にご尽力をいただきました策定委員の皆さまに厚くお礼申し上げます。

令和8年5月

置戸町長 深川正美